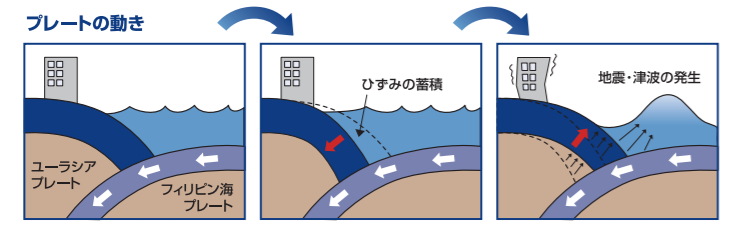
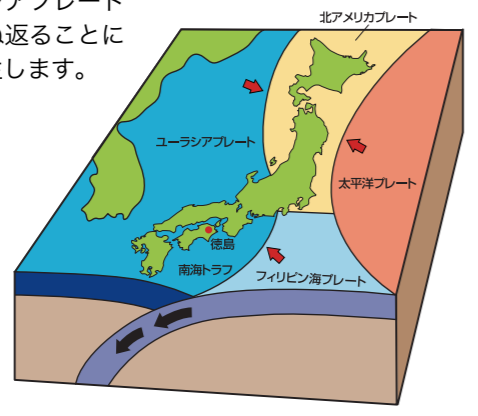


地域で守ろう

「自主防災組織」

徳島県はユーラシアプレートの上に位置し、フィリピン海プレートが潜り込み、ユーラシアプレートを引きずり込んでいます。引きずり込まれたユーラシアプレートが、元に戻ろうと跳ね返ることにより、南海地震が発生します。



南海地震はなぜ起こる？
南海地震とは、足摺岬（高知県）沖から潮岬（和歌山県）沖付近の南海トラフと呼ばれる海底の細長い凹地の周辺で、繰り返し発生する巨大地震です。

南海地震はどんな地震？
強く長い揺れが約2分から3分続くと予想され、三好市では、震度5強（行動に支障を感じる）から6弱（立つていますが困難になる）と予想されています。

あなたの家は大丈夫？
耐震診断・耐震改修
阪神・淡路大震災では、亡くなられた方の8割が建物の倒壊や家具の転倒による圧死でした。住宅を地震から強くすることが命を守るため最重要です。

※木造住宅の耐震診断・耐震改修については、三好市管理課（☎72・7681）までお問い合わせください。

地震から命を守る（阪神・淡路大震災から15年）

地域が主役 高めよう防災力

大規模災害に備えよう

わが国は、地震多発国であり、東南海・南海地震は、30年以内に60%程度の確率で発生すると予想されています。この地震による三好市の震度は、5強から6弱の激しい揺れが予想されています。

一方、近年多発している局地的集中豪雨や台風などは、地球の温暖化が影響しているのではないかと考えられており、これまで以上に大規模な自然災害の発生も懸念されます。

大規模災害による被害を最小限に抑えるためには、災害に強い地域づくりが重要です。

地域ぐるみの防災力向上

広域で大規模な災害が発生すると、行政の救援活動には限界があるため、地域での助け合いが必要です。

自助・共助・公助の連携

被災直後は「自分たちの命は自分で守る（自助）」、「自分たちのまちは自分たちで守る（共助）」の2つが中心となります。行政機関と連携しながら、地域住民が主役の防災対策が必要とされています。



寄り合い防災講座

地域の集まりなどに県や市の職員などが直接出向き、防災に関する基礎知識などを説明しています。



起震車による地震体験

自主防災組織とは

安全・安心な暮らしを実現するために、地域住民が自主的に組織するのが、自主防災組織です。自らの命を守る取り組みも自主防災組織を核として地域の全員が進めることが重要です。



自主防災組織の設立

三好市の自主防災組織率は合併当時28・6%でしたが、現時点では74・2%と、多くの組織が結成されてきました。

地区別組織率	
三野	94.06%
井川	79.39%
池田	59.02%
山城	85.98%
西祖谷	84.74%
東祖谷	96.75%

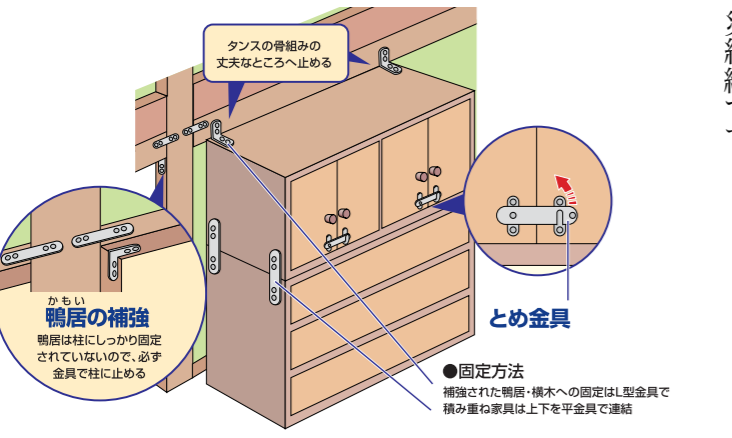
三好市では、より多くの自主防災組織が結成されるよう支援を行っております。詳しくは下記までお問い合わせください。

家の中は安全？ 家具の転倒防止
大きな地震が起こったらタンス、本棚、食器棚など背の高い家具が転倒したり、家具が移動して通路をふさぐなど非常に危険です。

避難場所を知っている？ 避難経路の確認
避難は徒歩が原則（車は渋滞のもと）です。避難場所までの道を、一度、歩いてみましょう。道に面して立つ自動販売機、電信柱、ブロック塀など倒れると危険なものがあります。



非常用持出品は、押し入れの奥にしまいこんでは、とっさのときに持ち出せません。また、リュックなどひとつにまとめておきましょう。



3日間生活できる？ 非常用備蓄品・持出品の準備
地震が起きた直後は、水、食料、日常生活品もすぐには手に入りません。3日分程度の水、食糧、日常生活品を準備し、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。

地域のきずなが命を守る 自主防災活動への参加
火災が発生したり、けがをする人が出た場合、たよりになるのは、ご近所の力であり、「自分たちの地域は自分たちが守ろう！」と結成されているのが、自主防災組織です。

お問い合わせ先
三好市危機管理室（☎72-7625）
三野総合支所市民課（☎77-4800）
井川総合支所市民課（☎78-5001）
山城総合支所市民課（☎86-1150）
西祖谷総合支所市民課（☎87-2273）
東祖谷総合支所市民課（☎88-2212）



市民による防災訓練